

86,540円

印刷代(月刊武松用紙代)	20,320円
交通費(駐車場、燃料代、高速代)	8,917円
通信費(折込代、携帯電話代)	57,303円
支出計 23/10/1~23/10/31	86,540円
寄附 匿名さん	1,000円

市政を考える
月刊武松

たけまつ ただし
頒布責任者： 武松 忠(市議会議員)

第214号

小田原駅西口地区基本構想

今年度内に基本構想の策定・公表

- ①小田原の中心市街地にふさわしい機能の導入
- ②生活利便性が向上する用途の導入
- ③土地の高度利用の促進

2024/3 基本構想の策定・公表

新健康増進拠点施設の整備

健康増進拠点施設の整備について説明します。

■課題

健康寿命の延伸は見られるものの、平均余命との差は依然として開いており、脳血管疾患や心疾患の死亡率も国や県と比較して高い状況にある。

平均余命と健康寿命の差

男性：1.44歳 女性：1.92歳

脳血管疾患の死亡率が依然として高い

神奈川県平均の約1.8倍

塩分摂取量が多い、高血圧症の人が多い

運動を全くしていない人は約30%（満20歳以上）

■対策の方向性

今後高齢化がさらに進む中、より一層市民一人ひとりの健康意識の向上を図り、自ら健康を守ることができるよう市民の自己管理能力を高める必要がある。

■上位計画と対策案

第6次小田原市総合計画2030ロードマップ1.0及び2023年3月に策定した第2期小田原市健康増進計画では、これまで健康に関心だった層にも情報を届け、健康診査の受診や運動習慣の定着といった行動変容につながるよう、**デジタルの活用や民間と連携した取組の推進、ソフト事業の展開のみならずハード面の整備なども含め、新たな基幹型としての健康増進拠点施設の整備の調査・検討を位置づけ、その推進を図ることとした。**

■健康増進拠点施設の役割・機能

(1) 基幹型（拠点）施設としての役割

保健センターは、これまで地域保健法に基づく施設として、市民に対する健康相談、保健指導や健康診査などを実施し、地域の健康づくりに寄与してきた。一方近年では、**フィットネス施設**などの民間の健康管理市場の拡大や、スマートフォンなどの**デジタル機器の普及**に伴い一人ひとりの健康状態が把握しやすくなるなど、健康づくりを取り巻く状況は変化している。こうした中で、これまで注力してきた病気の早期発見や治療に加え、子ども、高齢者、障がいのある方、健康に関心な層などあらゆる方がそれぞれの健康状態に応じた適切な生活習慣・運動

習慣を定着させる**実践の場**を通じた新たな健康づくりへのはたらきかけが、これまで以上に重要になっている。また、この**実践の場**で蓄積されたデータを活用し、健康相談などの従来の取組の底上げや、健康おだわら普及員等健康増進を担う人材の育成など、施設を利用する方だけではなく**地域全体の健康増進に寄与していくことも役割として求められている。**

(2) 施設の基本的な考え方

ア 子ども、高齢者、障がいのある方、健康に関心な層などを含め、すべての市民の健康増進が図られる包摂性のある施設

イ 早期に運動習慣のきっかけをつくるとともに、その定着が図られる施設

ウ 様々な資源を活用し地域全体の健康増進を図る基幹型としての施設

(3) 施設の機能コンセプトについて

現時点においては次のとおり設定しており、今後、健康増進に関わる各種団体や事業者、市民等の意見を伺い、基本構想で定めていく。

ア 幅広い世代、あらゆる人々が日常生活機能の維持・向上・改善に向けた習慣の定着、自己管理能力を高める機能

イ 民間のノウハウ・デジタル技術を活かし、楽しみながら正しい知識に基づく自らの健康管理や運動習慣の定着を図る機能

ウ 公民連携による健康増進に関するプロジェクトの実施や健康に関する多様な情報の収集・分析により、地域の健康課題の解決に資する機能

エ 必要に応じて、専門家による健康づくりの支援を受けることができる機能（公民連携による県西初の厚生労働省認定健康増進施設も視野）

■調査・検討のスケジュールについて

2023年度は、新たな基幹型としての健康増進拠点施設について、コンセプトや必要な機能などの大きな方向性を固め、**基本構想**としてまとめていく。また、補助金の活用、施設の管理運営の基本方針などに係る検討・調査は、2024年度以降も継続して行っていく。

2023/10 小田原市健康増進計画推進委員会

2023/12 厚生文教常任委員会報告

2024/3 基本構想の策定

■議会報告会のお知らせ■

12/16(土) 18~20時 UMECO 会議室9
参加費：100円 どなたでも参加できます。
終了後、有志で忘年会を行います。（実費）



公式HP
月刊武松パナパナ他



twitter
防災・感染症情報



facebook
日々の情報など



気象庁キクル
洪水害

